



「Cワード」－成長への隠れた税

[ヴィトル・ガスパル](#)、[シヨン・ヘイガン](#)

2015年11月5日

近年、公的部門の腐敗にまつわる疑惑に対しより多くの市民が一段と高い関心を示すようになってきました。サンパウロからヨハネスブルグまで、人々は街に出て汚職に対しデモを行っています。チリやグアテマラ、インド、イラク、マレーシアやウクライナなどでは、指導者に対し「腐敗への対処を！」とはっきりと大きな声でメッセージを訴えています。

政策担当者もこれに注意を払っています。「C（腐敗：corruption）ワード」に関する議論は、国際通貨基金のような政府間組織にとりデリケートな問題でした。しかし今月はじめのペルー・リマでの年次総会でIMFは、この問題に関する斬新かつ率直な討論を開催しました。パネルセッションでは、腐敗の定義、その直接的・非直接的影響、個人やIMFのような組織が担うことのできる役割を含めた腐敗対処のための戦略などについて、刺激的な討論が繰り広げられました。このブログでは、どのような議論が行われたのか簡単に紹介したいと思います。

腐敗とは

腐敗の定義は容易だと思われるかもしれませんが。ほとんどの人が、腐敗という言葉を見ればそれが何か理解していると思うのではないのでしょうか。たとえば、官僚が金銭や政治的な利益を供与するかわりに賄賂を受け取るなどです。しかし、専門家は腐敗はもっと幅広いものだと考えるようになってきています。あるパネリストが述べたように、腐敗とは、単なる2人の関係者の間の取引ではなく、「公共政策の私物化」として考えることができます。ビジネス界や政界の権力を持ったエリートが共謀して、公的制度をコントロールし政策策定プロセスを掌握し、政府の契約や調達を独占するなどです。また別のパネリストは腐敗をさらに広く定義しました。腐敗とは「政府における公平性の欠如であり」、公的資金や権力が人々の福祉にマイナスの影響を及ぼす形で利用されることだとしました。

腐敗のコスト

大半の人々にとり直接的な経済的コストは明白です。サービス提供者による賄賂の要求は、社会的に影響します。税務署員への賄賂は公的な歳入の減少につながり、政府の公共サービスの提供の低下を引き起こします。割り当てられた資金が流用されてしまい学校を建てることができません。しかし、非直接的コストは経済的に広範な影響を及ぼす可能性があります。ジョージT. アベド、サンジープ・グプタ編集の「ガバナンス、腐

敗、経済パフォーマンス ([Governance, Corruption, and Economic Performance](#)) で分析しているように、腐敗は、たとえばレントシーキングへの過剰投資や生産的活動への過少投資、非効率な政策の永続化などにより、経済成長にマイナスの影響を及ぼします。腐敗の経済的コスト—ところでこれは発展度合いに関係なく国々を苦しめます—は膨大です。2005年のある[研究](#)の推計によると、贈収賄だけでその世界的コストは1.5兆ドルにも及ぶ可能性があります（現在の世界のGDPの約2%に当たります）。また、腐敗の減少と、一人当たりのGDP及び人間開発指数の長期的な改善の間に強い相関関係があることを示す研究もあります。つまり、腐敗は成長と投資にかかる税だといえるのです。

さらに、腐敗のコストは経済的なものだけではないと一部のパネリストは強調しました。腐敗は、市民の政府への信頼の喪失、政治的影響の不平等のレベルの上昇、公共価値の低下、そして最終的には市民の福祉や生活の質の低下の一因にもなります。こうした経済以外の面でのコストは、公的部門のパフォーマンスの低下という長期的に経済に害を及ぼす負のサイクルを引き起こします。

幅広い多面的なアプローチが必要

現在、腐敗とそれが引き起こす結果が広くとらえられていることから、これに対処するにあたって幅広い多面的なアプローチが必要だという点で全てのパネリストの意見が一致しました。こうした総合的なアプローチにはリーダーシップが必要で、インセンティブを変え価値を構築する必要があります。これら全てが相互を補強します。

- 第一に、指導者は権力を持った既得権益—小さな魚ではなく大きな魚、小さな虫ではなくトラ—と積極的に戦わなければなりません。また、自らが非の打ちどころのない行動を示すことで模範とならねばなりません。シンガポールのリー・クアンユー氏は、自ら模範を示し自らが生み出した政治的意思により腐敗との戦いで成功した指導者の最高の例だといえます。
- 第二に、強力なインセンティブ（動機付け）です。リーダーシップは、飴と鞭、つまり正の強化と説明責任の強力なシステムで補完しなければなりません。腐敗と戦う明確な枠組みが必要でこれが実施されなければなりません。同時に、政府は公務員に生活賃金を保証する必要があります。規制緩和と自由化を通じた経済の開放性も助けとなります。過度に規制された経済は腐敗という慣習を維持する強力なインセンティブを生み出すからです。早急に効果的な自由化措置を講じたポーランドが良い例です。政府の業務や取引の透明性もこれを挫く要因として重要です。
- 第三に、道徳的価値の構築です。各国はクリーンな政府を評価する文化を促す必要があります。そうした文化の構築には市民の教育が必要です。公的な研修も有効ですが、最終的には価値は教育システム、ピアプレッシャー、そして日々の労働経験や諸機関の慣習などを通し学ぶ必要があります。

IMF はどのように貢献できるか

腐敗は、IMF の直接的な関心事項である財政の健全性と金融市場の安定性に影響を及ぼすことから、パネリストは、IMF は腐敗と戦う加盟国への支援に利害関係を有していると強調しました。

IMF は公共財政管理システムの設計と透明性の改善（[IMF の財政の透明性に関する規定](#) など）や、裁量的な処遇や優遇措置の余地を抑える安定した透明な経済的・規制的環境を支援することで腐敗防止を支援します。マクロ経済的安定のために腐敗対策が不可欠だとされる重大な局面にある場合には、IMF はより積極的に対応してきました。たとえば、IMF は腐敗対策や法執行機能のために法的枠組みの改革を主張してきました。ケニア、インドネシア、そしてウクライナがその例です。

ほとんどの場合、腐敗は、マクロ的に重要な意味を持つようになるずっと以前に始まります。腐敗対処への支援にどれほど早く IMF はより直接的に乗り出すべきでしょうか。腐敗の長期的な影響を踏まえ、これに関する議論は IMF の加盟国との年次協議に組み込まれるべきでしょうか。これについて IMF のデビッド・リプトン筆頭副専務理事は、簡単な質問ではないとの認識を示しています。加盟国は腐敗に関する協議により前向きではありますが、それでも依然としてデリケートな問題であり IMF の役割についてはさらなる検証と議論が必要でしょう。どちらにしても、リプトン氏が強調しているように、加盟国が腐敗に取り組む政治的意思を真に示すのであれば、IMF はこの隠れた税のコストを徹底的に抑えるうえで必要な、経済政策と規制枠組みの大胆かつ包括的な変革に取り組む加盟国を支援すべきでしょう。



ヴィトル・ガスパル。ポルトガル出身の IMF 財政局長。IMF 着任前は、ポルトガル銀行で特別顧問をはじめ様々な上級政策担当の職に就く。2011～2013 年にポルトガル政府の財務大臣を務める。2007～2010 年に欧州委員会の欧州政策顧問局長、1998～2004 年に欧州中央銀行の調査総局長を務める。ヌエバ・デ・リスボン大学から経済学で博士号及びポストドクター取得。また、ポルトガル・カトリカ大学でも学ぶ。



ショーン・ヘイガン。IMF の法律顧問兼法律局長。着任以前は、ニューヨークと東京で開業。IMF のマネジメント、理事会、及び加盟国に対し、規制、助言、融資機能を含めた IMF 業務の全ての法律面の助言を行う。IMF の法令、及び特に破産と債務再編などを中心とした金融危機の防止と解決に関する多岐に渡る法律関連著作を多数発表。